



加治丘陵だより

加治丘陵山林管理グループ

平成24年5月15日

第16号

NPO法人
加治丘陵山林管理グループ

E-mail iruma@npo-kajikyuryo.net URL http://npokajihogen.seesa.net/

新理事長に山畠 博理事就任

本年1月23日の臨時理事会において、清水理事長が辞任され、代って山畠理事が4月1日より新理事長への就任を承認されました。

清水理事長は平成19年6月より、山作業の豊富な経験者として特に間伐や危険木の伐採、機械整備の技術などその指導力とともに多くの実績を残されました。しかし、作年秋ごろから体調を崩し、その任に耐えられないとのことで急遽辞任されたものです。

山畠新理事長は加治丘陵の麓で育ち、子どものころ遊んだ山が荒れて行くのを見るに忍びがたく、初代小澤理事長とともに当グループの創立に尽力され、これまで副理事長として常に中心的役割を果たしてこられた重鎮であります。

理事長就任のあいさつ

山畠 博



加治丘陵の山々が新緑に萌え、遊歩道を散策する人々が目立つ季節になりました。このほど、約5年間当グループのリーダーとして会の発展に尽くされた清水理事長の後任を任せられました。広大な丘陵を会員の皆さまと力を合わせて、これまでと同じように作業を進めて行きたいと考えております。

今年は当グループ10周年の節目に当たりますが、会員の和を大切に、作業に当たっては安全第一をモットーにして着実に進みたいと考えております。これからも県・市当局のご指導をいただきながら、里山の保全に努めます。会員・賛助会員の皆さまの絶大なご支援をお願いします。

理事長退任のあいさつ

清水 徳三

このたび健康上の理由により、やむを得ず退任させていただきました。5年近くの間、試行錯誤を繰り返し、無理な仕事も押し付けて、関係した皆さまには大変ご迷惑をおかけしました。特によもぎ新道や南・北コースの危険木伐採については、時には大きな声を出すこともありましたが、さしたる事故もなく成し遂げられたことは、皆さんのご協力による賜物と心より感謝しております。

今後も一員として体調の許す限り、作業やイベントにはできるだけ参加したいと思っておりますのでよろしくお願いします。

新旧役員

新たに菱川浩次理事が副理事長に、また下記の3名が新理事に6月10日の総会の決議により就任の予定です。

新任理事 吉野行男・砂川英昭・原日出生

退任理事 清水徳三・加藤 保

新任監事 中原祥之

退任監事 武井文雄

新入会員ご紹介

平成24年4月20日現在

(会員番号、氏名)

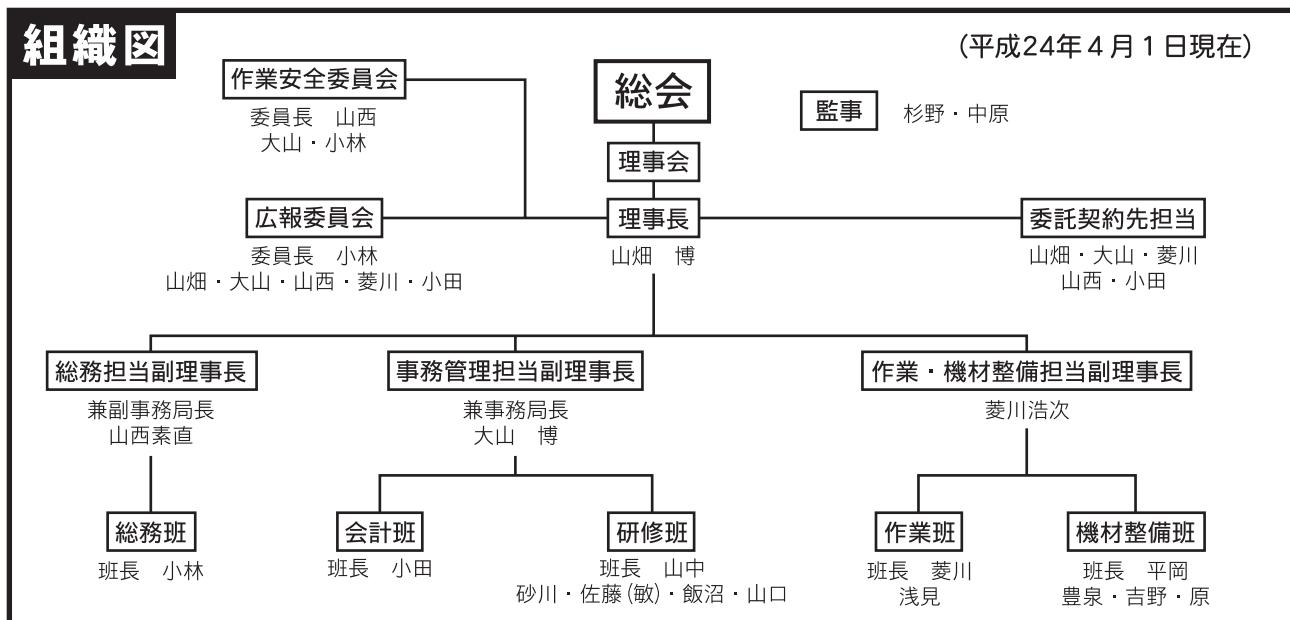
374 大治靖規 375 大垣敏夫

376 宮岡福司 378 大塚 拓

379 遠藤昭夫

組織図

(平成24年4月1日現在)



平成23年度作業実績及び24年度作業予定について

平成23年度は新たに策定されたさとやま植生計画に基づき、作業の場所と方法も変わり、また台風による倒木や危険木が多発して伐採作業も多く、予定日がしばしば変更になり、会員の皆さんも戸惑ったのではないかと思われます。しかしながら、下草刈り約99,000m²、伐採205本など、かなり高水準の実績をあげることができました。これも会員の力が充分に發揮された結果であると深く感謝しております。

平成24年度については新植生計画の2年目となり、昨年と同様な作業内容になると思われますが、引き続き行政のご指導をいただきながら進めて行くつもりです。

会員の平均年齢も高くなっていますが、安全第一に無理をせず、楽しく無事故で作業を進められるように一人ひとり自覚して行動して行きましょう。先般「山仕事の広場」が完成しましたが、これに伴い加治丘陵を訪れる人々が益々増えてくるものと予想されます。より安全で、きれいな楽しい里山にしていきたいと思っています。

(作業・機材整備担当副理事長 菱川浩次)

創立10周年記念事業がスタート



1. 事業の目的

数人の有志で加治丘陵の環境保全に取り組んで以来10年を迎え、176名の会員、37社の賛助会員を擁する大きな組織に成長した。

さらに、会員の団結と親睦を深めながら、「人と自然のふれあいの場づくり」の未来に向け、この10年を一つの「節目」として基盤強化をさらに図る。そして、入間市との協働を尊重しながら、100年後の子孫に引き継ぐため、加治丘陵の環境整備に努めていく。

2. 事業費

75万円（平成24年4月から平成25年3月まで）

3. 記念事業

(1) 10周年記念総会 6月10日（日） 於：産業文化センター

記念講演：講師 木下博市長 テーマ「元気な入間と加治丘陵 その未来」

同時開催：記念写真展、記念レセプション

来賓予定者：市長・国會議員・県会議員・県所長・市議会議長・市会議員・市関係者ほか

(2) 記念品：ネーム入りTシャツ 300枚 6月配布予定

(3) 森林視察研修：9月9日（日）バスによる川崎市「生田の森公園」

(4) 記念誌の発行：10年の歩み 10月末予定

(事務局長 大山 博)

加治丘陵植生管理計画への対応

去る3月24日市民活動センターにて、市・みどりの課との3回目の意見交換会が開かれました。

みどりの課からは粕谷副参事、上原副主幹、平井主事、当方は理事と企画委員が出席し、平成23年度の実施状況、平成24年度の進め方や管理に関する問題点などについて話し合われた。始めに当方から4月1日から山畠新理事長への交代に伴う新体制について説明し、みどりの課からは平成23年度の実績と、新年度の作業予定について話があった。また追加作業として、階段作りや「山仕事の広場」の完成に伴う新たな保全管理の作業もあるとのことです。「加治丘陵植生管理運営協議会（仮称）」が正式に発足し、さとやま計画区域の植生管理についての基本的な方針が具体化されるに伴い、当グループが如何に対応すべきか、今まで以上にみどりの課との連携を密にしてこの計画に沿った活動をして行くことになります。

（総務担当副理事長 山西素直）

山仕事の広場 オープニング・セレモニー

入間市が推進している加治丘陵の整備計画の中心となる多目的広場が、このほど一応完成の運びとなりました。名前も新たに「山仕事の広場」と命名され3月28日(水)オープン。ここは桜山展望台（南コース）から約200m北に入った北コース沿いにあり、以前はさとやま探検隊の炭焼き場となっていた付近を整地し、約1haの広さに外周を柵で囲んだもの。完全排水のトイレも完備され、遊歩道を散歩する人たち、とりわけ子どもたちには格好の広場として癒しの場所となるでしょう。

みどりの課からの要請により当方の会員も15名ほど参加し、午前9時から周辺の整備やよもぎ新道から入る北コースの道路を清掃したりして準備に協力しました。

10時半ごろより木下市長、斎藤、田中両県会議員、市会議員多数、市の関係者、それに金子保育園の児童ら約30名が参加、セレモニーが開催された。

モミの苗木の植樹祭が行われ、市長に続いて清水理事長が鍼入れを行った。次々と来賓の人や園児が土をかけ、最後に当グループの役員が整地した。また、この行事は埼玉テレビ、入間ケーブルテレビでも放映された。

（総務班長 小林貞治郎）



狭山市で大山 博事務局長が事例発表

平成23年12月10日(土)狭山市中央公民館で、狭山市教育委員会社会教育課の要請により、「生物多様性を考える～里山の自然の魅力」という講座の中で大山事務局長が当グループの活動事例について発表しました。

グループの現状、おもな活動内容、安全対策など、荒れていく広い加治丘陵を如何にして立て直していくか、15分間ほどでしたが熱弁を振るわれました。会場の数十名の聴取者はもちろん、基調講演をされた大井正 独協大学教授からも絶賛されました。

（副事務局長 山西素直）



ふれあいの森 だより



写真のようにやっと当初の構想のかたちがほぼ完成しました。平成20年より取り掛かり、約5千m²の雑多な樹木の密集していた森を切り開いて明るくなると、コアジサイやヤマツヅチなどが芽吹きはじめた。小鳥の巣箱、土留め、男坂と女坂の階段を作り、このほど最後のテラスを設置しました。

今後は草刈りなど維持整備がおもな作業となります。コースを散策する人々には、安部会員が作った大きなフクロウとクヌギのワンちゃんたちが喜んで迎えてくれるでしょう。

(ふれあいの森担当 加藤 保)

お知らせ・イベント情報

●創立10周年記念総会 6月10日(日)

産業文化センター2階（前掲の【記念事業スタート】参照）
同時に市長の講演会、写真展、レセプションを開催しますので会員はもちろん、関係の方々多数のご出席をお待ちしております。

●10周年記念森林視察研修 9月9日(日)

川崎市「生田の森公園」
懇親会場：深大寺門前茶屋予定
参加費：5千円
追って案内書を配布しますが、大型バスの乗員定数40人のため早めに申し込みください。

●安全研修会 6月24日(日)

農改センター事務所及び屋外にて実施予定

●入間万燈まつり 10月27日(土)・28日(日)

今年もたいへん評判の良い生イカのまる焼きなど出店しますのでぜひお立ちようください。

●第9回楽山会ゴルフコンペ 10月12日(金)

シルクカントリー倶楽部（群馬県）
なお、第8回コンペは4月19日(木)
埼玉ロイヤルゴルフ倶楽部にて行われました。23名参加し治郎堂実さんが第6回に続いてまたも優勝しました。

●暑気払い 7月26日

航空自衛隊の花火大会に便乗予定。

訃報

会員 渡辺忠さん ご逝去（享年74歳）

平成23年11月7日(日)朝、作業現場へ向う途中、桜山展望台付近で突然倒れ、直ちに会員や通行人により人工呼吸、心臓マッサージを施し、救急車で原田病院へ搬送され、医師の懸命な手当でもむなしく、家族に見守られ息を引き取られた。急性心不全でした。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

このような事態は初めてのケースであり、6月に予定している安全研修会の事例に取り上げて「危機管理」体制をさらに強化していきたい。

(事務局長 大山 博)

親子カブト虫とり大会 中止

今年は中止します。放射能問題で幼いこどもに敬遠されているためです。また、幼虫は数百匹入れてあるが、昨年は少ししか捕れなかったので、今年は状況を観察して調査することにしました。

入会のお誘い

＝会員になって活動を支えて下さい。＝

- 我々はボランティアで活動しています。
- 176名の会員が汗を流して頑張っています。
- 年会費 正会員（個人）2,000円
賛助会員（会社又は団体）1口10,000円
- 加入連絡先 04-2932-4515（山畠 博）

編集後記

創立10周年を迎えてこの会報も16回目の発行となりました。そしてこの秋には8ページの記念特集号を予定しております。10年の歩み、思い出、市長の寄稿文などを計画しています。追って原稿依頼される方、自由に投稿される方も結構ですからよろしくお願ひします。

(編集委員長 小林貞治郎)